A stylized globe graphic in shades of red and white, showing the continents of Asia, Australia, and parts of Europe and Africa.

2018年9月期
第2四半期決算説明会資料

2018年5月14日(大阪)
5月15日(東京)



1. 会社概要

2. 2018年9月期第2四半期決算サマリー

3. 今後の取り組み

(ご参考資料)

会社概要



商号	IMV株式会社 [英文社名] IMV CORPORATION
会社設立	1957年(昭和32年)4月17日
資本金	4億6481万円
従業員数	365名 (2017年9月30日現在 連結)
年間売上高	108億9,834万円 (2017年9月期 連結)
上場証券取引所	東京証券取引所JASDAQ市場
証券コード	7760
決算期	9月30日



グローバルネットワーク

IMV TECHNO VIETNAM を4月に開設、入間テストラボ(仮称)を10月に開設予定



Osaka
大阪



- ・本 社
- ・大阪営業所
- ・技術本部
- ・大阪テストラボ

Tokyo
東京



- ・東京営業所
- ・東京エンジニアリングサービス部



- ・MESエンジニアリングサービス部
- ・東京テストラボ

Thailand
タイ



IMV (THAILAND) CO., LTD.

China 中国



IMV CORPORATION
Shanghai Representative Office

Nagoya
名古屋



- ・名古屋営業所
- ・名古屋テストラボ

Uenohara
上野原



上野原サイト
高度試験センター

U.K.
英国



IMV EUROPE LIMITED



IMV EUROPE LIMITED
European Manufacturing Centre



1G DYNAMICS LIMITED

Germany
ドイツ



IMV EUROPE LIMITED
German Sales Office

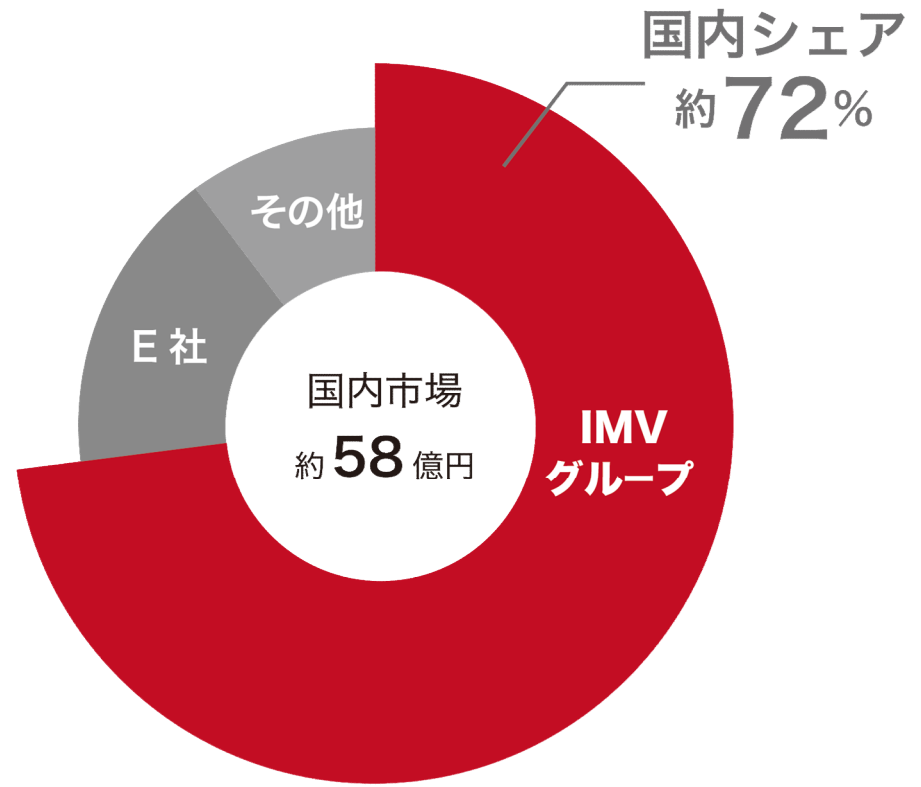
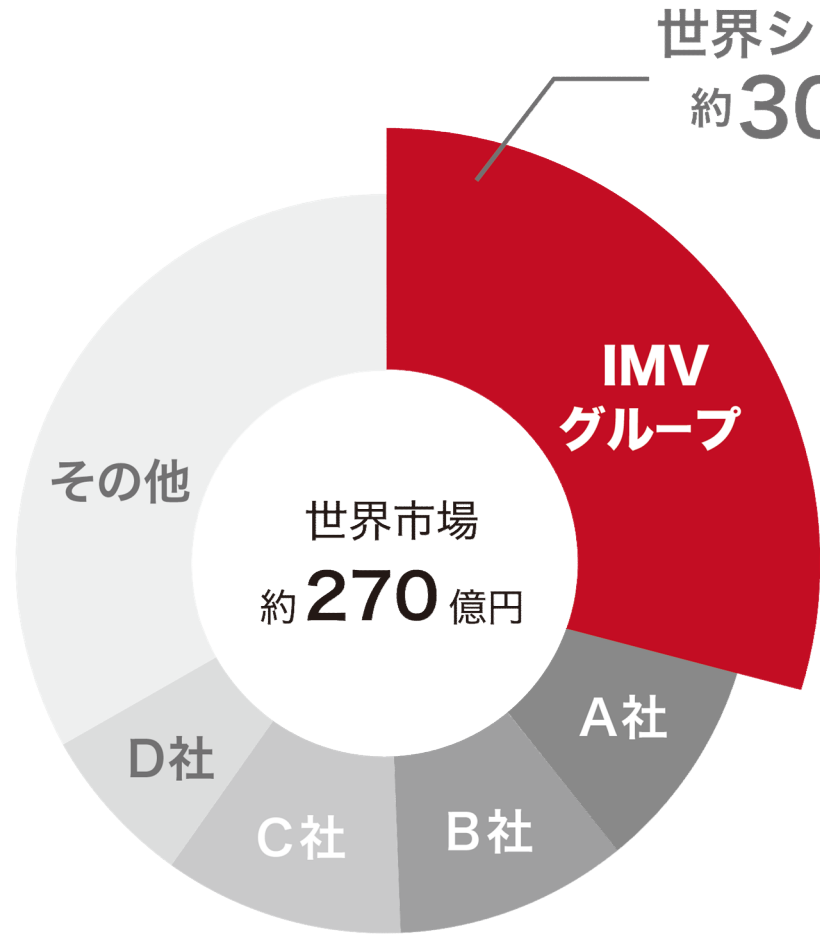
U.S.A.
アメリカ



IMV America, Inc.

IMV CORPORATION

市場 DSS販売シェア状況(当社予想含む) 2017年9月期連結

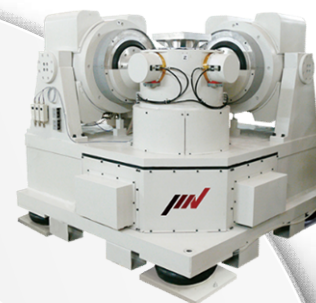


事業セグメント



メジャリングシステム

MES
Measuring
Systems



振動試験装置



テスト&ソリューションサービス

TSS
Test & Solution
Service

15%

売上
構成比

10%

75%

DSS
Dynamic
Simulation
Systems



56億4,707万円
(2018年9月期第2四半期 連結)



1. 会社概要

2. 2018年9月期第2四半期決算サマリー

3. 今後の取り組み

(ご参考資料)

決算概要(連結) 1



(単位:百万円)

	18/9中間期 実績	17/9中間期 実績	コメント
売上高	5,647	5,781	自動車関連業界及び電機電子業界を中心に振動シミュレーションシステムの受注は順調に推移しましたが、前連結会計年度の一時的な受注低迷の影響により、減収となりました。
経常利益	658	956	減収や円高による為替影響等により、前年同期比31.1%の減益となりました。
純資産	6,316	5,552	親会社株主に帰属する四半期純利益(457百万円)の計上により順調に増加しました。
フリーキャッシュフロー	△1,233	△24	減収等の減少要因により営業活動による収入が前年同期より減少した事及び入間テストラボ土地建物を購入したことで、フリーキャッシュフローは大幅に減少しました。
売上高経常利益率	11.7%	16.5%	減収効果や円高による為替影響等により、売上高経常利益率は前年同期と比較し低下しました。
自己資本比率	42.8%	42.4%	親会社株主に帰属する四半期純利益(457百万円)の計上により純資産が増加し、財務安全性がさらに向上しました。
自己資本四半期純利益率 (ROE)	7.6%	12.5%	親会社株主に帰属する四半期純利益(457百万円)が前年同期より減少した事で、自己資本四半期純利益率は低下しました。

決算概要(連結)2



(単位:百万円)

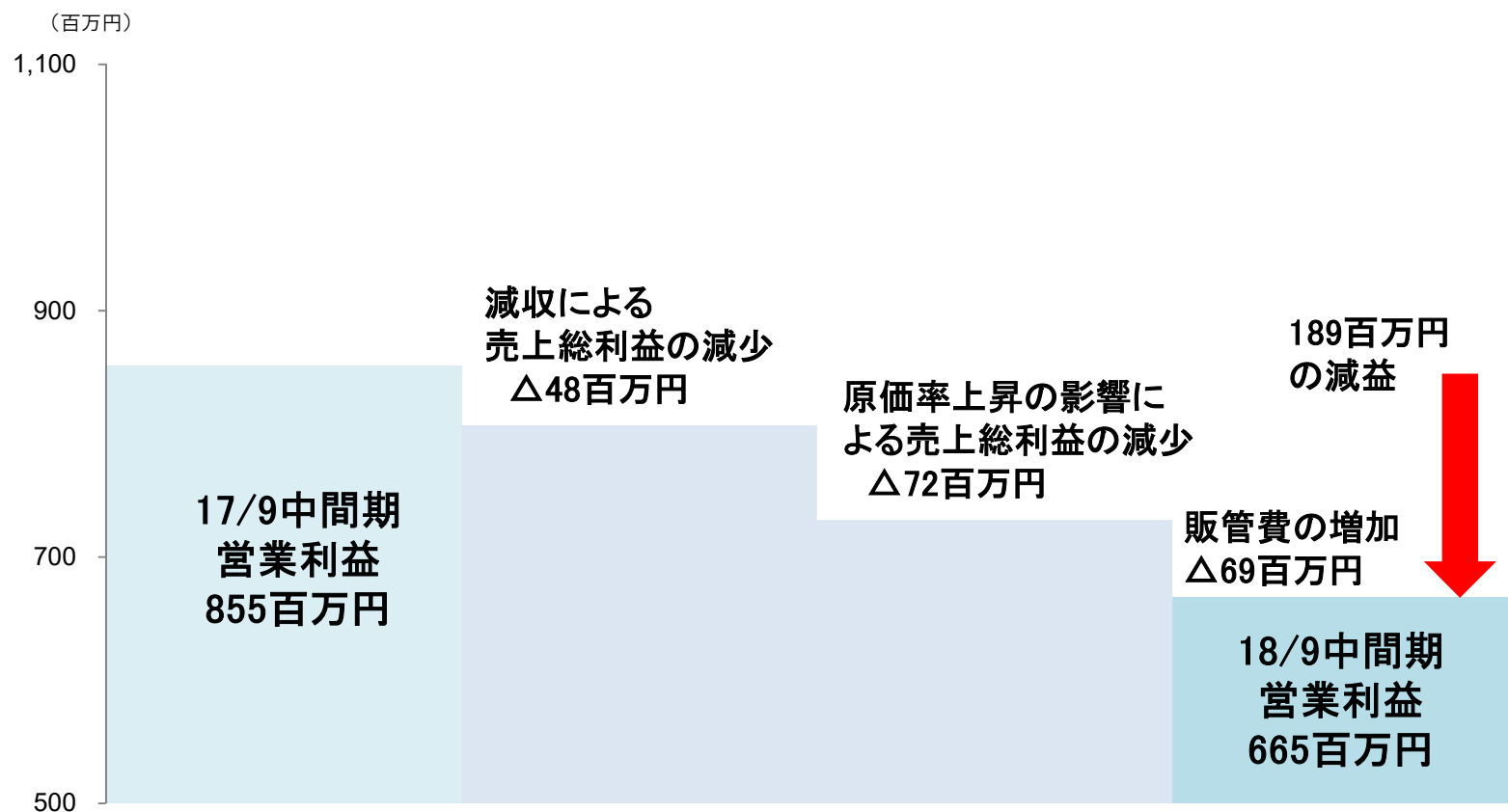
	18/9中間期 実績	17/9中間期 実績	増減額	増減率	18/9中間期 予想	増減率
受注高	6,232	4,891	+1,341	+27.4%	—	—
売上高	5,647	5,781	△134	△2.3%	5,800	△2.6%
営業利益 (営業利益率)	665 (11.8%)	855 (14.8%)	△189	△22.2%	600 (10.3%)	+10.8%
経常利益 (経常利益率)	658 (11.7%)	956 (16.5%)	△297	△31.1%	600 (10.3%)	+9.7%
親会社株主に帰属 する四半期純利益 (四半期純利益率)	457 (8.1%)	662 (11.5%)	△204	△30.9%	390 (6.7%)	+17.2%
設備投資額	1,009	296	+713	+240.8%	—	—
減価償却費	215	169	+46	+27.2%	—	—
研究開発費	208	296	△88	△29.7%	—	—
従業員数(人)※	367	307	+60	+19.5%	—	—

※△は損失、減少を表します。従業員数には、期中平均臨時従業員数を含みます。

売上高は前年同期比134百万円減収の5,647百万円となりました。減収や円高による為替影響もあり、営業利益は前年同期比189百万円減益の665百万円、経常利益は前年同期比297百万円減益の658百万円となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同期比204百万円減益の457百万円となりました。

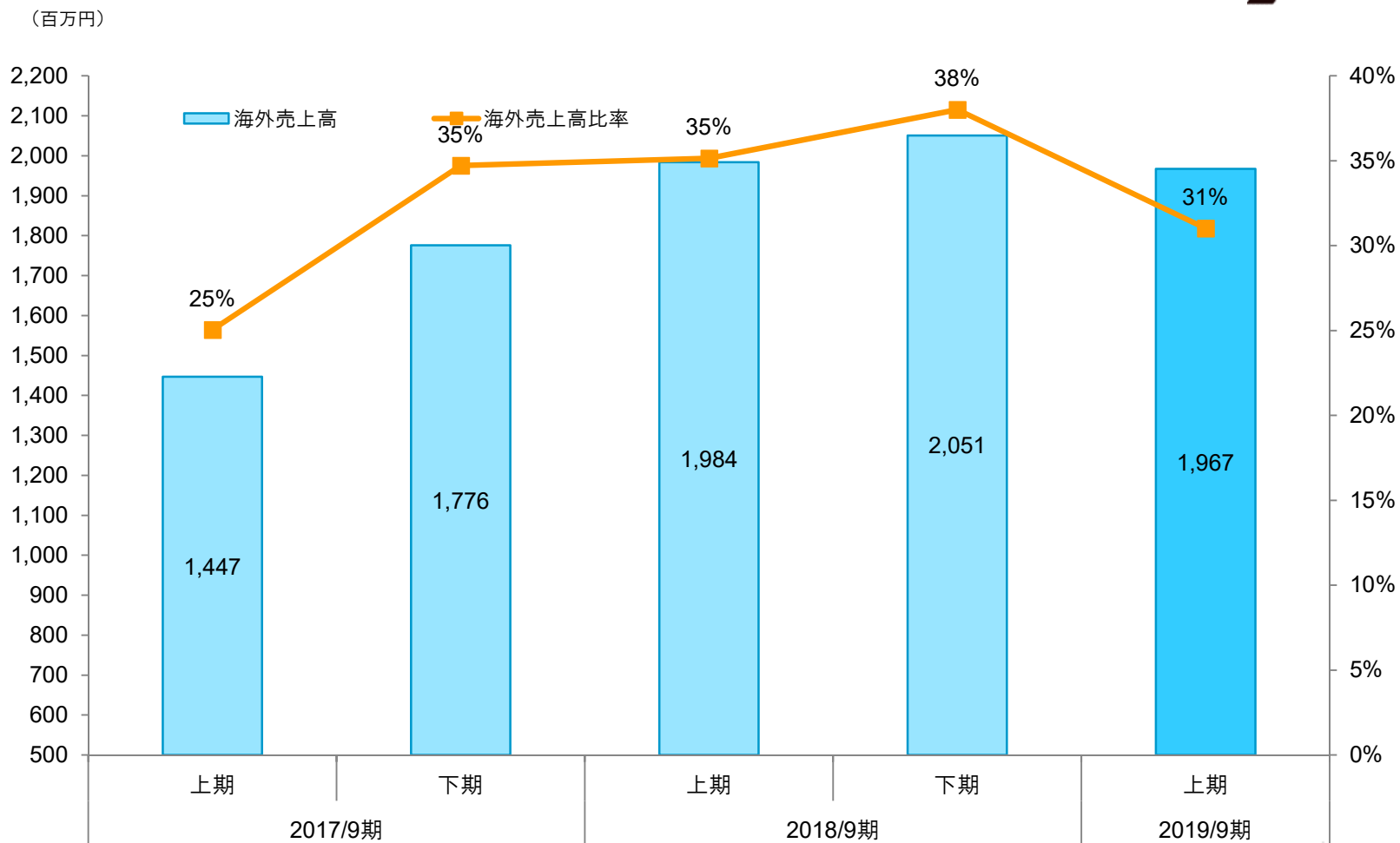
IMV CORPORATION

営業利益増減要因(連結)



減収による売上総利益の減少、人員増加等による労務費の増加により販管費が増加した結果、営業利益は189百万円の減益となりました。

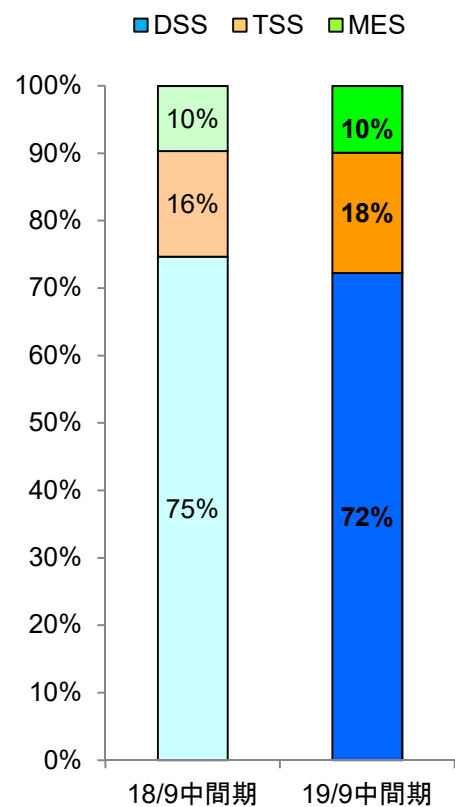
受注の状況



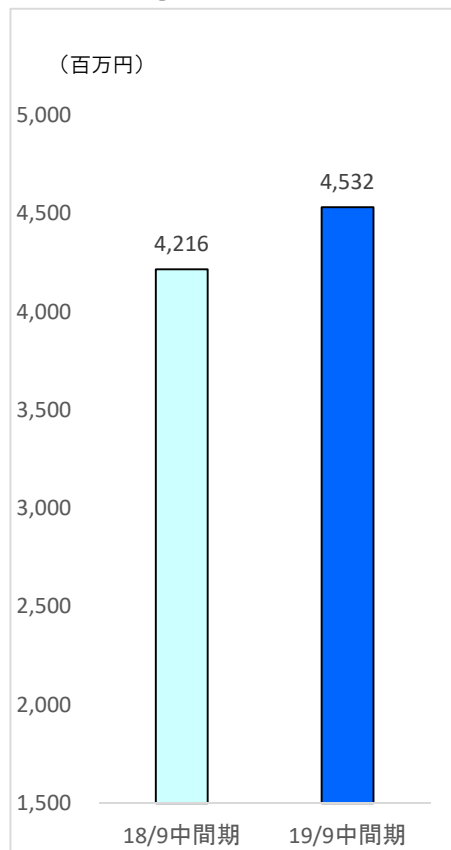
品目別ポートフォリオ



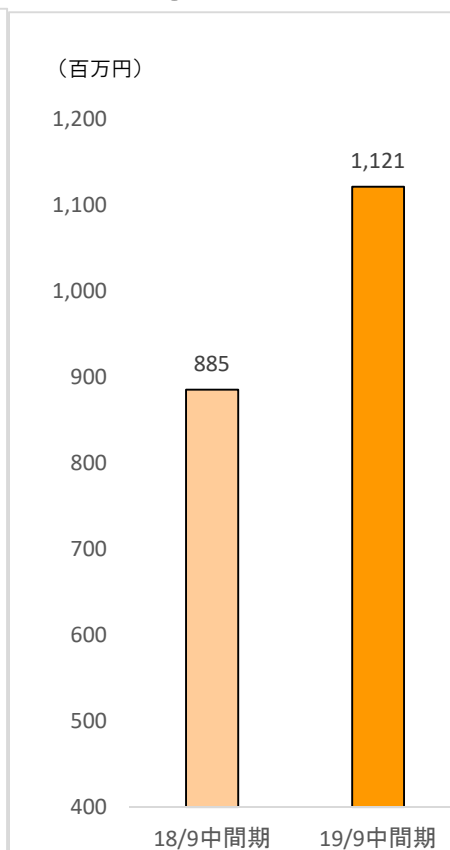
○ 品目別売上構成率



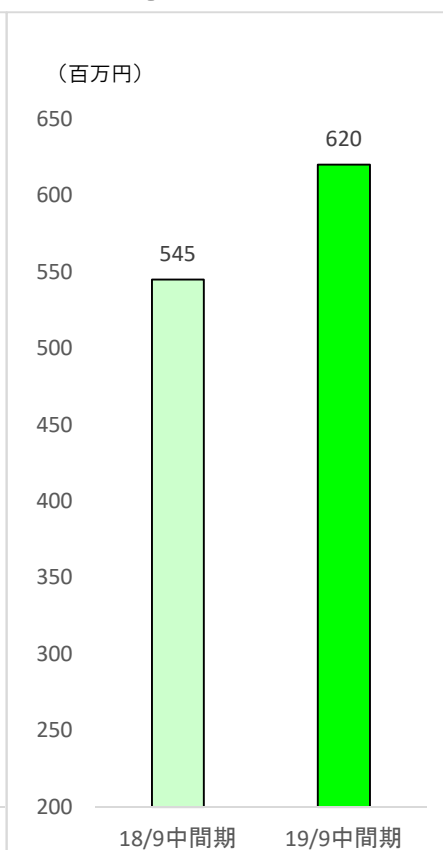
○ DSS事業



○ TSS事業



○ MES事業



DSSにおいては国内の大幅な増収により、MESにおいても地震計の売上高が伸び、TSSにおいては、上野原高度試験センターにおける売上伸長により、全ての品目で増収となりました。

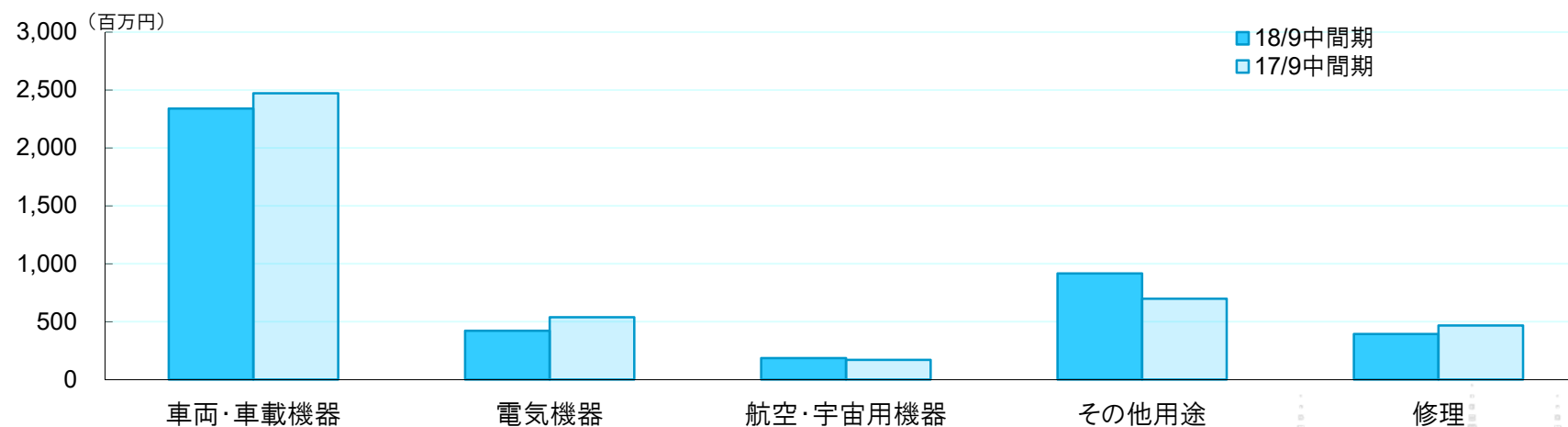
DSS事業 ～概況～



(単位:百万円)

	18/9中間期	17/9中間期	増減額	増減率
車両・車載機器向け	2,305	2,472	△167	△6.8%
電気機器向け	421	537	△116	△21.6%
航空・宇宙用機器向け	184	169	+15	+8.9%
その他用途向け	915	696	+218	+31.3%
点検・修理	391	466	△75	△16.1%
合計	4,216	4,342	△125	△2.9%

- 自動車関連業界及び電気電子業界を中心に受注は堅調に推移し、さらに欧州においても省エネ型振動発生装置の売上が好調でしたが、前期の一時的な受注低迷の影響を受けて、減収となりました。
- 点検・修理に関する売上においては、振動発生装置の納品作業が増加した影響で、一時的に減収となりました。



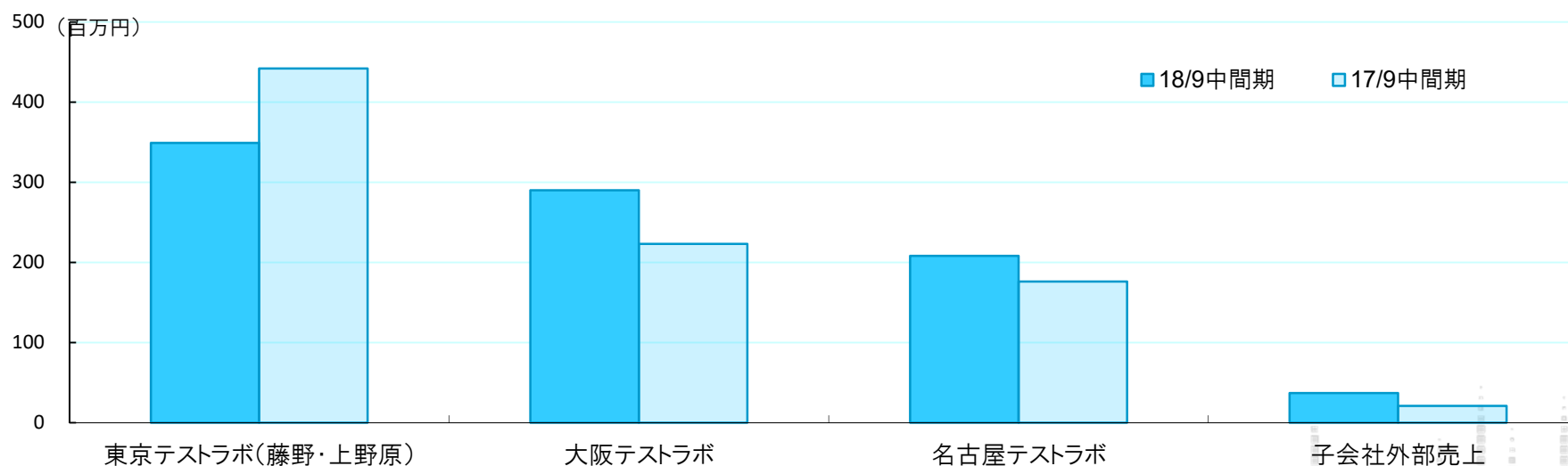
TSS事業 ～概況～



(単位:百万円)

	18/9中間期	17/9中間期	増減額	増減率
東京テストラボ (藤野・上野原)	349	442	△92	△20.9%
大阪テストラボ	290	223	+67	+30.1%
名古屋テストラボ	208	176	+31	+17.7%
子会社外部売上	37	21	+16	+76.1%
合計	885	863	+22	+2.6%

- 東京テストラボ上野原サイトは、前年同期に高額案件受注があった影響により減収となりました。
- 一方、大阪テストラボは、鉄道業界からの受注が順調に推移し、売上は増加となりました。
- また、名古屋テストラボにおいても、東海地区における競争が厳しい中、自動車関連業界からの受注が好調な結果、前年同期を上回る結果となりました。



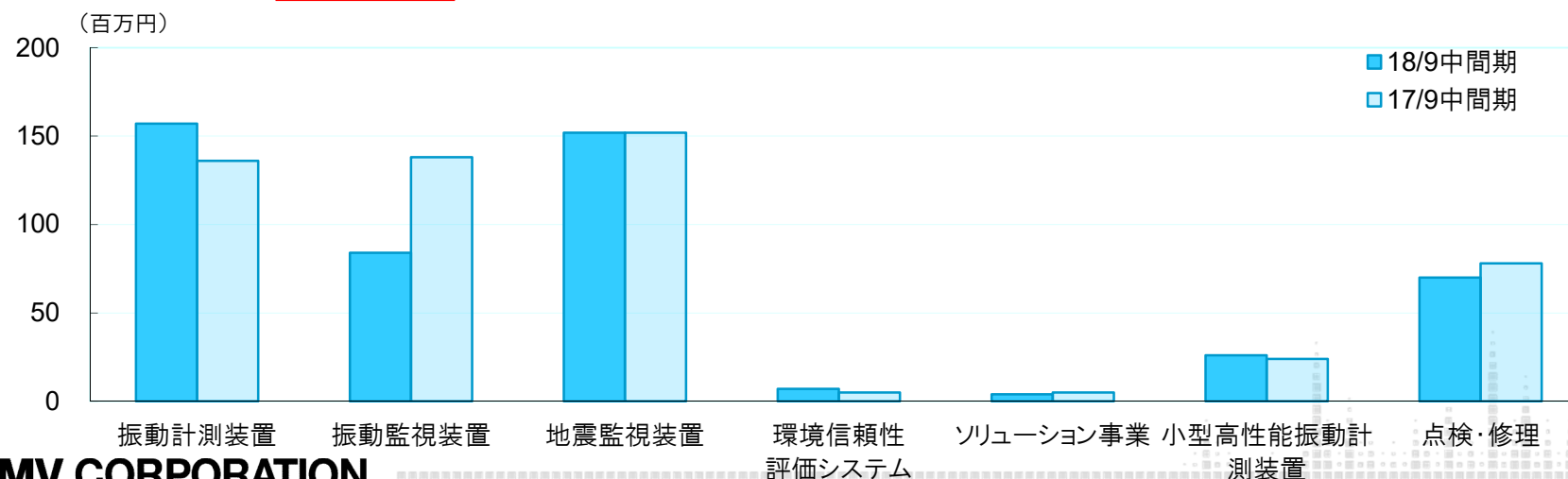
MES事業 ～概況～



(単位:百万円)

	18/9中間期	17/9中間期	増減額	増減率
振動計測装置	157	136	+20	+15.3%
振動監視装置	84	138	△53	△38.8%
地震監視装置	152	152	0	0%
環境信頼性評価システム	7	5	+1	+30.7%
ソリューション事業	4	5	0	△17.1%
小型高性能振動計測装置	26	24	+1	+5.4%
点検・修理	70	78	△7	△9.2%
子会社外部売上	40	33	+6	+18.2%
合計	545	576	△31	△5.4%

- 振動計測装置及び地震監視装置の販売は順調に推移いたしました。
- 一方で、常時監視システムが伸びず、前年同期を下回る結果となりました。



IMV CORPORATION

業績の見通し(連結)



(単位:百万円)

	18/9期 予想	17/9期 実績	増減額	増減率
売上高	11,500	10,898	+601	+5.5%
営業利益 (営業利益率)	1,200 (10.4%)	1,158 (10.6%)	+41	+3.5%
経常利益 (経常利益率)	1,200 (10.4%)	1,389 (12.7%)	△189	△13.6%
親会社株主に帰属する当期純利益 (当期純利益率)	780 (6.8%)	942 (8.6%)	△162	△17.3%
設備投資	857	500	+357	+71.3%
減価償却費	379	376	+3	+0.7%
研究開発費	468	511	△43	△8.4%
従業員数(人)※	379	365	+14	+4.1%
1株当たり配当金(円)※	7.5	10.0	△2.5	△25.0

※従業員数には、期中平均臨時従業員数を含みます。

※17/9期の配当金につきましては、記念配当2.5円を含みます。

※18/9期の配当金につきましては、2018年12月開催予定の定時株主総会において上記配当金を附議する予定です。



1. 会社概要

2. 2018年9月期第2四半期決算サマリー

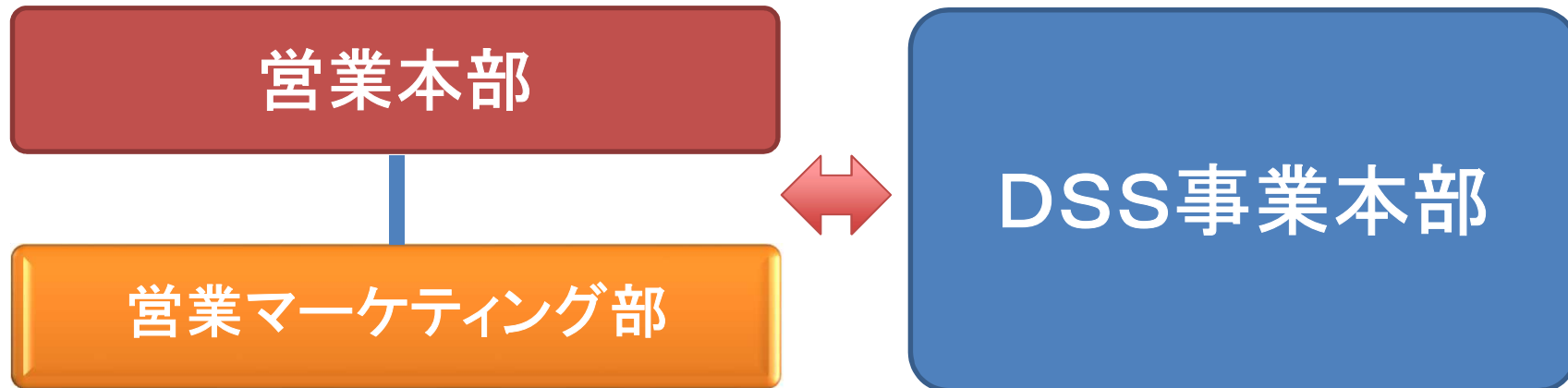
3. 今後の取り組み

(ご参考資料)

DSS事業の取り組み①



- 「市場動向を定量的かつ迅速に把握する必要性」
→営業マーケティング部を創設し、営業本部との連携強化



①市場の把握

(市場規模、市場成長率、製品価格、勝敗理由、競合他社、自社の理解)

②製品企画・開発

③市場開発(広告、プロモーション活動)

④販売後のフォロー(製品の改良、社内情報共有)

⑤販売形態の開発及び変化の可能性の模索



DSS事業の取り組み②



- 「最大市場である自動車分野が大きく変革しようとしている中、提案型営業を加速させる必要性」

→オートモーティブ関連への対応

オートモーティブ営業推進プロジェクト

東京営業所

大阪営業所

名古屋営業所

- ①代理店様及び社内のオートモーティブ関連部門との連動を検討
- ②情報収集と提案内容の検討
⇒車両メーカー様及びサプライヤ様に対し、どの様な積極的な提案が可能か顧客製品とリンクさせ検討する
- ③新たなコラボ製品の検討
⇒営業マーケティング部とリンク
- ④既存の販売実績例も踏まえつつ、横串の営業展開を図る

IMV CORPORATION

海外事業の取り組み①



- 東南アジア第2の拠点として“IMV Techno Vietnam”
を4月に設立

→ハノイ進出の日系企業・欧州企業に対して、振動シミュレーションシステムの
販売、メンテナンスサービス及び試験受託を充実（2018年7月開業予定）




IMV CORPORATION

Thang Long Industrial park, Dong Anh District, Hanoi, Vietnam

海外事業の取り組み②



(1) 名称	IMV Techno Vietnam COMPANY LIMITED
(2) 所在地	Thang Long Industrial park, Dong Anh District, Hanoi, Vietnam
(3) 代表者氏名	柿原正治(当社 海外事業本部長代行)
(4) 資本金	100万米ドル
(5) 株主構成	当社 100%
(6) 決算期	9月
(7) 設立日	2018年4月16日
(8) 事業開始日	2018年7月(予定)
(9) 事業内容	振動シミュレーションシステムの販売、メンテナンスサービス及び試験受託

A large, semi-transparent image of the Vietnamese flag (red field with a large yellow five-pointed star) is overlaid on the right side of the table.

TSS事業の取り組み

「e-モビリティ社会」の到来

電動車両機器向け環境試験規格 (ISO 19453) の発効
機能安全志向の芽生え (ISO26262)



電池

Connected

自動運転



＜IMV 関東第3の拠点＞

“人間テストラボ” (仮称)

自動車及び自動車部品メーカー向け

受託試験サービスの拡充 (2018年10月開業予定)



IMV CORPORATION

TSS事業の取り組み「信頼性評価」



◆ ターゲット

成長著しいEV領域 = 『eモビリティ』における受託試験サービス

◆ 市場動向

自動運転、技術の高度化、複雑化、キーパーツが高性能電子化
生命に関わる機器の誤動作、故障は許されない
世界的に安全に対する信頼性要求が強まっている（IMVの貢献領域）

(1) 環境試験の世界標準 ISO19453 への適合

- ・ 機械負荷（加振、衝撃、落下） ⇒ ① 既存事業 強化
- ・ 気候負荷（気圧、結露、塩水温度湿度複合） ⇒ ② 展開計画中

(2) 電子化で強まる 電磁ノイズ耐性(EMC)の評価と対策

- ・ 車載機器のEMC規格への対応
（ISO、JASO、メーカー独自規格、他） ⇒ ③ 展開計画中

E-モビリティ:

バッテリーや燃料電池といった電力により車両の動力を得るということであり、具体的には電気自動車(EV)やプラグインハイブリッド車などのことを指す。また、EVなどの普及推進を目指す動きのことや関連する領域全体を「E-モビリティ」ということもある。

EMC (Electromagnetic Compatibility の略):

で電磁両立性の意味する、電磁放射(Electromagnetic Emission)と電磁免疫性(Electromagnetic Immunity)の性能の確保し、他の電子機器及び人体を含む環境での共存両立を可能とする電磁性能を意味する。

TSS各拠点の新たな取り組み



入間テストラボ(仮称)

E-モビリティ信頼性評価事業の開始



上野原高度試験センター

超大型加振機(35t)の新設
パック電池対応大型振動試験機 & 衝撃試験機の配備



大阪テストラボ



鉄道試験に加え
大型(20t)複合試験機の追加

名古屋テストラボ



特殊振動試験
電池試験(新展開)
EMC試験(新事業)

東京テストラボ





MES事業の取り組み①

社会インフラ事業への新規進出

→ 鉄塔や橋梁、ビルなどの劣化、グラつきをセンサーで常時監視するHMシリーズ発売！

採用例：橋梁

従来の問題点

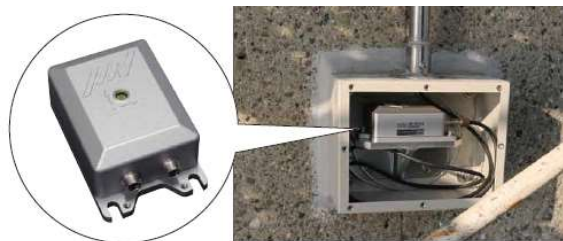


潜水士による調査計測

- ・増水、濁流時での計測の安全性
- ・人不足の中での保全要員の確保
- ・大量の橋や鉄塔の人手管理は無理

開発品

- ・危険な現場も常時監視が可能
- ・クラウドに上げれば遠隔監視可能



- ・微振動・低周波振動能力は国内随一
- ・大量普及を狙った低コストを実現
- ・既にフィリピンでは法令の元に大量採用が開始



日本経済新聞社にも掲載されました。

2017年10月24日掲載

IMV CORPORATION

MES事業の取り組み②

- NTT様との協業で、振動検知による防災IoT分野へ進出

→早速、精密診断ユニットΛ-Vibro-ラムダバイブロ1号機がJAEA日本原子力研究開発機構より受注

安全品質がより厳しくなった原発関連から安心信頼されるIMV

基本性能:振動計から取得したデータを即時にBIツールにて分析が可能
→事故発生前に瞬時に情報を把握し、関係者に連絡が可能

IMVの「ラムダバイブロ」



Yellowfin



IMV CORPORATION

防災に必要な精密
分析を提供します

最新のFFT分析レポート
を表示します。

波形表示やしきい値の
設定も可能で、しきい値を
超えた場合はアラート
メールを送信可能です。



設置場所の図面を可視化し、どの計器で
異常が起こっているか可視化できます。
※定期的に自動リフレッシュ

OAの時系列分析を表示し、気になる
地点を選択すると対象のFFT分析
レポートが表示されます。

FFT分析を3次元で表現し、
傾向を分析することも可能。

ありがとうございました



代表取締役会長

小嶋 成夫

代表取締役社長

小嶋 淳平

経営企画本部長

濱里 一也

■ お問い合わせ先

IR窓口：経営企画本部経理部 IR担当 竹本

TEL: 06-6478-2565 FAX: 06-6478-2567
06-6478-2562(個人株主さま)

E-MAIL: imvir@imv.co.jp <http://www.imv.co.jp>

○免責事項

本資料は当社をご理解いただくために作成されたもので、当社への投資勧誘を目的としておりません。投資に関する決定は、ご自身のご判断において行われるようお願いいたします。

本資料を作成するに当たっては正確性を期すために慎重に行っておりますが、完全性を保障するものではありません。本資料中の情報によって生じた障害や損害については、当社は一切責任を負いません。

本資料中の業績予想ならびに将来予測は、本資料作成時点で入手可能な情報に基づき当社が判断したものであり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。そのため、事業環境の変化等の様々な要因により、実際の業績は言及または記述されている将来見通しとは大きく異なる結果となることをご承知おきください。



1. 会社概要

2. 2018年9月期第2四半期決算サマリー

3. 今後の取り組み

(ご参考資料)

貸借対照表の概要(連結)



(単位:百万円)

	18/9中間期末	17/9期末	増減額		18/9中間期末	17/9期末	増減額
流動資産	8,690	8,190	500	流動負債	6,393	5,644	749
現金預金	1,758	2,037	△ 279	仕入債務	2,626	2,426	200
売上債権	4,320	3,533	787	短期有利子負債	2,733	1,953	780
棚卸資産	2,316	2,229	87	その他流動負債	1,032	1,264	△ 231
その他流動資産	294	390	△ 95	固定負債	1,683	1,475	207
固定資産	5,703	4,926	776	長期有利子負債	1,249	918	331
有形固定資産	4,960	4,189	770	その他固定負債	433	557	△ 123
無形固定資産	354	376	△ 22	負債合計	8,076	7,120	956
投資その他資産	388	359	28	純資産合計	6,316	5,996	319
資産合計	14,393	13,116	1,276	負債・純資産合計	14,393	13,116	1,276

資産の部 : 現金預金が279百万円減少し、売上債権が787百万円増加いたしました。

負債の部 : 仕入債務が200百万円増加し、短期有利子負債も780百万円増加いたしました。
長期有利子負債は331百万円増加いたしました。

純資産の部 : 純資産は319百万円増加いたしました。

キャッシュフロー計算書の概要(連結)



(単位:百万円)

		18/9中間期	17/9中間期	増減額
①	営業活動によるキャッシュ・フロー	△ 101	310	△ 412
②	投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,132	△ 335	△ 796
①+②	フリーキャッシュフロー	△ 1,233	△ 24	△ 1,209
③	財務活動によるキャッシュ・フロー	948	328	620
④	現金及び現金等価物に係る換算差額	0	16	△ 16
⑤	現金及び現金同等物の増減額	△ 285	320	△ 605
⑥	現金及び現金同等物期首残高	1,757	1,444	313
⑦	現金及び現金同等物期末残高	1,472	1,765	△ 292

営業CF : 税金等調整前四半期純利益が658百万円といった増加要因が、売上債権の増加795百万円等の減少要因を下回ったことにより、キャッシュが101百万円の減少となりました。

投資CF : 入間テストラボ用地購入及び設備投資等の有形固定資産の取得による支出1,009百万円等により、1,150百万円の減少となりました。

フリーキャッシュフロー: 有形固定資産取得による支出等によりフリーキャッシュフローは△1,233百万円となり、前年同期比1,209百万円減少となりました。

財務CF : 短期及び長期借入金による調達額1,570百万円等の増加要因が、長期借入金の返済による支出458百万円及び配当金の支払いによる支出161百万円等の減少要因を上回ったことにより、948百万円の増加となりました。

沿革



- 1957 株式会社国際機械振動研究所(旧社名)を設立
- 1988 東京テストラボ開設
- 2005 ジャスダック証券取引所に上場
- 2011 10月、英国に IMV CORPORATION EUROPEAN TECHNICAL CENTRE を開設
(現 IMV EUROPE LIMITED)
- 2012 1月、タイに IMV (THAILAND) CO., LTD. (子会社)を設立
11月、ドイツに IMV CORPORATION German Sales Office を開設
(現 IMV EUROPE LIMITED German Sales Office)
- 2013 5月、IMV株式会社 上海代表所を設立
- 2015 1月、英国にIMV EUROPE LIMITED European Manufacturing Centreを開設
11月、東京テストラボ 上野原サイト 高度試験センターを開設
- 2016 4月、米国にIMV America, Inc.(子会社)を開設
- 2017 7月、英国に1G DYNAMICS LIMITED.(子会社)を開設
- 2018 4月、ベトナムにIMV TECHNO VIETNAM COMPANY LIMITED.(子会社)を設立
10月、人間テストラボ(仮称)を開設予定



IMV (THAILAND) CO., LTD.



IMV EUROPE LIMITED
German Sales Office



IMV株式会社 上海代表所



IMV EUROPE LIMITED



東京テストラボ 上野原サイト
高度試験センター



IMV America, Inc.



1G DYNAMICS LIMITED



人間テストラボ(仮称)



IMV TECNO VIETNAM CO.,LTD.



[SECURE THE FUTURE]



IMVが見守る未来

IMVは1957年の設立以来、振動問題のソリューションパートナーとしてさまざまな分野と携わってきました。これからも、製品→パートナー→社会に対して、信頼を形にする企業であり続けます。

Future

安全を見つめて未来の社会に貢献します。

IMV work with our customers and investors to secure their future, developing the products, skills and resources that will bring success. IMV appreciate this and work fast to meet our Partners' future needs.

Integrity

誠実で開かれたパートナーシップを大切にします。

IMV treat our customers, suppliers and investors with the highest of integrity, dealing with all our partners in an open and honest manner. IMV work hard to earn and keep your trust.

Reliability

製品とサービス、すべてに信頼を作り込みます。

Our customers use IMV's products to ensure reliability and performance. We build this reliability into all our products and services. IMV will be there when you need us.

Strength

振動技術の世界リーダーとして経営基盤を強化します。

IMV's financial strength means we will be a long-term partner for our customers and able to invest in the research for new products. IMV have the strength in finances, products and people to serve our customers on a global basis. We have the strength to be the World's Number 1 Vibration Test and Measurement Company.

Technology

顧客ニーズに俊敏に応える技術を開発します。

IMV invest substantially in research to understand our Customers' needs and the products to meet those needs. IMV have been the first to market with many new products and technologies and we will continue to lead the market through technology and innovation for the benefit of our customers and investors.